



わかば

流山市立北部中学校
平成31年2月18日
生徒数 496名

『有終の美』

校長 金子 邦晃

厳しい寒さにも、ほんの少し春風が分け入る時期がきたように感じています。この時期になると必ずこの句が頭に浮かびます。

「春風や鬨志いだきて丘にたつ」(高浜虚子)

「春風」はとてもいいものです。「秋風」の涼やかな風もいいのですが、「春風」が含んでいる温かさと匂いは、寒さで縮んだからだや耐えてきた苦勞を癒やししながら、希望をのせてくれるような気がするからです。そして春風は時折、冬の名残のようにその冷たさを含み、「油断するなよ」「気を引き締めてな」と語りかけます。避けることのできない道程で、まずは目指した一山に立ち、辿る未来に思いを馳せ、「やるぞ」という強い意志をまとして立っている姿。それが今です。次の始まりの一步は力強い方がいい。はっきりとした道しるべと培った自信を持ってしっかりと踏みしめるために、残りの時間があります。

『有終の美』

※有終の美…与えられたことを最後までしっかりやり、また、終わり方がとても立派であり、きれいであること。

学校ではよいよ平成30年度の締めくくりとなる3月を迎えます。3年生は明日19日に公立高校前期試験の発表があり、2月28日に公立高校後期試験が行われ、3月6日の発表により、大半の生徒が進路を確定させていくこととなります。長かった試練を乗り越えてこそ、人間的な成長と次のステージでの飛躍の力が生まれるものです。中学時代は人としての土台づくりと自分さがしの旅の始まりです。自分のやりたいことは何だろう、どんなことができるのだろうか、何に向いているのだろうか…と、考え、時には悩み苦しむこともあるでしょう。ひと思いに到達できることはなく、入学試験も大きな山ではあるけれど、双六のあがりではないのです。一つ越えれば次の山が待っていることは間違いないのですが、次に立ち向かう時には、努力から生まれた経験と知恵が確実に自分の足取りを軽くしてくれるはずで。

卒業式に向けては残り16日になります。どうか中学時代の残り少ない時間を『有終の美』を飾る仕上げの時間として、質の高い生活を送ることを期待しています。1・2年生もそれぞれの学年の「終わり」を実りあるものし、次の学年の「始まり」につながるよう努力してほしいと思っています。

3月5日(火)に、「3年生を送る会」が開催されます。今回のテーマは「未来へ～最初の一歩～」となっています。このテーマは「3年生は卒業してからの新たな一歩を、1・2年生は進級に向けての一歩を踏み出せるようにという願いを込めて」考えられています。あわせて、それぞれの学年が互いに『感謝』の気持ちを伝えられる会にしたいと思います。また3年生には特に中学校で過ごした3年間、その時々頑張ったことや苦勞したこと、あるいは感動の場面を思い起こして、やがて『母校』となる流北をしっかり心に刻み込んでほしいと思っています。